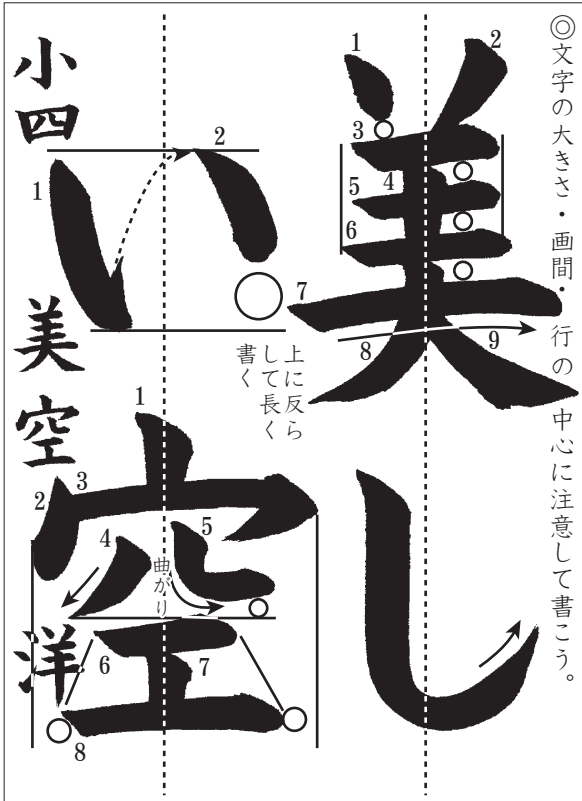


※第60回書初め課題語句



小四

光野 美香



小五

小林 妙子

高・大・一般 漢字(楷書A)

※楷書A、Bは段級をとわず両方出品も可。

加藤 東陽

多宝塔碑 (顔真卿) ②



※落款(署名)には「東陽臨」と記しています。「東陽(雅号)」が臨書した、という意味になります。
 (復見) 燈光 (復た燈光を見たり)



落款の記し方

- ・臨書の場合は「○○臨」とします。
- ・他者の作った文・文章で、漢字のみの場合は「○○書」とします。
- ・自分の作った文・文章の場合は、「書」を省くことが多いです。
- ・右の「○○」には、自分の名(太郎・花子など)や雅号(東陽・清泉など)を記し、姓(鈴木・田中など)にはしません。

〈解説〉

多宝塔碑は、顔真卿の書の中で晩年の書と比べると風味に乏しい感がありますが、結構は緊密で、変化に富んでいて、豊肥・妍媚を極めた作品と評されています。

〈学習上の留意点〉

「燈」…字形は極端な偏小旁大。旁「登」の筆順に注意しましょう。五画目にあたる火(はつがしら)の左払いが短く、八画目の右払いは長く書かれています。

「光」…四画目(横画)の起筆と六画目(ハネ)は、蚕頭燕尾を想起して運筆すると良いでしょう。また、五画目(左払い)の起筆の位置や六画目(ハネ)の方向にも留意して書きましょう。

